

令和6年8月28日
101会議室

令和6年第16回 立川市教育委員会定例会

立川市教育委員会

令和6年第16回立川市教育委員会定例会

1 日 時 令和6年8月28日(水)

開 会 午後 1 時 30 分

閉 会 午後 3 時 25 分

休憩① 午後 2 時 55 分 ～ 午後 3 時

2 場 所 101会議室

3 出席者

教育長 栗 原 寛

教育委員 石 本 一 弘

小 柳 郁 美

署名委員 伊 藤 憲 春

伊 藤 憲 春

堀 切 菜 摘

4 説明のため出席した者の職氏名

教育部長 齋藤 真志

学校施設建替担当課長 鈴木 信貴

主任指導主事 片山 伸哉

教育支援課長 高橋 周

生涯学習推進センター長 庄司 康洋

教育総務課長 臼井 隆行

学務課長 澤田 克己

統括指導主事 野津 公輝

学校給食課長 青木 勇

図書館長 黒島 秀和

5 会議に出席した事務局の職員

教育総務課庶務係 和田 健治

齋藤 綾乃

案 件

1 議案

- (1) 議案第31号 「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」について
- (2) 議案第32号 令和7年度使用立川市立小学校教科用図書の採択について
- (3) 議案第33号 令和7年度使用立川市立小学校特別支援学級教科用図書の採択について
- (4) 議案第34号 令和7年度使用立川市立中学校特別支援学級教科用図書の採択について
- (5) 議案第35号 令和7年度使用立川市立中学校教科用図書の採択について

2 協議

- (1) 令和7年度使用立川市立中学校教科用図書の採択について

3 報告

- (1) 「たちかわ電子図書館」による輪島市への支援期間延長について

4 その他

令和6年第16回立川市教育委員会定例会議事日程

令和6年8月28日

101 会議室

1 議案

- (1) 議案第31号 「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」について
- (2) 議案第32号 令和7年度使用立川市立小学校教科用図書の採択について
- (3) 議案第33号 令和7年度使用立川市立小学校特別支援学級教科用図書の採択について
- (4) 議案第34号 令和7年度使用立川市立中学校特別支援学級教科用図書の採択について
- (5) 議案第35号 令和7年度使用立川市立中学校教科用図書の採択について

2 協議

- (1) 令和7年度使用立川市立中学校教科用図書の採択について

3 報告

- (1) 「たちかわ電子図書館」による輪島市への支援期間延長について

4 その他

◎開会の辞

○栗原教育長 ただ今から、令和 6 年第 16 回立川市教育委員会定例会を開催いたします。

署名委員に伊藤委員、お願いいたします。

○伊藤委員 はい、分かりました。

○栗原教育長 よろしくをお願いいたします。

次に、議事進行についてお諮りいたします。

本日は議案 4 件、協議 1 件、報告 1 件でございますが、2 協議（1）令和 7 年度使用立川市立中学校教科用図書の採択について、は本日の協議において教育委員会としての意見がまとまり次第、本定例会において追加議案として提出させていただきたいと思っております。ご異議ございませんか。

〔「異議なし」との声あり〕

○栗原教育長 異議なしと認めます。

また、通常ですと議事進行はお配りをしました議事日程の順となりますが、先ほど申し上げた理由により議事の順番を変更し、2 協議（1）令和 7 年度使用立川市立中学校教科用図書の採択について、を最初に協議したいと思っております。ご異議ございませんか。

〔「異議なし」との声あり〕

○栗原教育長 それでは、2 協議（1）令和 7 年度使用立川市立中学校教科用図書の採択について、は本定例会の最初にご協議いただき、教育委員会としての意見がまとまり次第、本日、本定例会において追加議案として提出をさせていただきます。

次に、出席者の確認を行います。齋藤教育部長、お願いいたします。

○齋藤教育部長 本日、第 16 回立川市教育委員会定例会への出席管理職でございます。教育部長、教育総務課長、学校施設建替担当課長、学務課長、片山主任指導主事、野津統括指導主事、教育支援課長、学校給食課長、生涯学習推進センター長、図書館長、以上でございます。

◎協 議

（1）令和 7 年度使用立川市立中学校教科用図書の採択について

○栗原教育長 それでは、2 協議（1）令和 7 年度使用立川市立中学校教科用図書の採択について、を議題といたします。

教科用図書の調査、研究の成果を踏まえ、それぞれの教育委員からご意見をいただき、教育委員会の責任と権限におきまして、協議を進めてまいります。

協議に入る前に、片山主任指導主事より説明をお願いいたします。

○片山主任指導主事 それでは、ご協議いただく前に確認をさせていただきたいこととご検討させていただきたいことがございます。この後、ご協議いただき、その後に決定していただく中学校教科用図書、この後は、教科書と言わせていただきます、については、令和 7 年度から全

学年で本日決定された発行者の教科書を使用することが原則となっておりますが、このことを踏まえ、以下の確認事項がございます。

これから述べる教科書については、前年度までに給与したものをそのまま継続して使用します。書写、第2学年の社会、地理的分野また歴史的分野、地図、第3学年の音楽、一般並びに器楽合奏、第3学年の美術、保健体育、技術家庭です。これらの教科は、複数学年にまたがる教科書であるためです。英語については学習指導要領において3学年分の指導内容が一体となっておりますが、教科書は学年別に発行されております。そのため、採択教科書を変更した場合、第1学年については採択変更後の発行者の新版教科書を使用しますが、第2学年、第3学年については学習内容の連続性に配慮し、原則的に採択変更前の発行者の新版教科書を使用します。

次に、ご検討いただきたい点でございます。

道徳については、学習指導要領において3学年分の指導内容が一体となっておりますが、教科書は学年別に発行されております。そのため、採択教科書を変更した場合、第1学年については採択変更後の発行者の新版教科書を使用し、第2学年、第3学年については学習内容の連続性に配慮し、採択変更前の発行者の新版教科書を使用することが原則です。ただし、採択権者の判断により特に必要性を認める場合には、第2学年及び第3学年について採択変更後の発行者の新版教科書を使用することも可能となっております。このことについて来年度使用する道徳の教科書については、本日決定していただく教科書を全学年において使用するということでご提案させていただきます。このことについてご協議いただき、ご承認くださいますようお願いいたします。

説明は以上です。

○栗原教育長 今、片山主任指導主事より説明がございましたが、今の説明に対して何かご質問あればお願いをいたします。

〔「ありません」との声あり〕

○栗原教育長 そして、最後に、片山主任指導主事から道徳の扱いについて採択変えが行われた場合、第1学年から第3学年まで全学年採択変更後の教科書を使用するという提案がありましたが、これにつきましても提案どおりで皆さまよろしいでしょうか。

〔「異議なし」との声あり〕

○栗原教育長 では、そのような取り扱いとさせていただきます。ありがとうございます。

説明ありがとうございました。

それでは、教科ごとに採択を進めてまいりたいと思います。

本日につきましても、前回、第15回立川市教育委員会定例会と同様に、教科ごとに各教育委員のご意見を賜る形で進めてまいります。また、協議がととのった段階で改めて議案として提案し、令和7年度使用立川市立中学校教科用図書を採択してまいります。

それでは、まず国語からそれぞれの委員のご意見をお願いします。初めに、石本委員お願いいたします。

○石本委員 国語については、基本的な内容を子供たちが自分で学びやすい教科書、自ら考える工夫があるかどうかという点についても考えました。学びのページというページが1ページにまとまっていて、基本的な内容を欲しい時に学ぶことができる、子供たちが自分で考えて進めることができる、それから、古典の学習内容も分かりやすいということで、私は光村図書出版がよろしいかと思います。

○栗原教育長 ありがとうございます。続きまして、伊藤委員お願いいたします。

○伊藤委員 私も各者を比べて判断をしました。各者特徴のある教科書ができていると思いますが、生徒が自分から考えるという視点からすると、光村図書出版が一番いいのではないかと私は思いました。

以上でございます。

○栗原教育長 ありがとうございます。小柳委員お願いいたします。

○小柳委員 私も3者に前回絞ったのですが、光村図書出版にしたいと思います。

理由は、まず選定検討委員会の報告書の1.教科用図書発行者の編修の趣意について、にもあるように、思い描いた言葉を自らの手で獲得できる教科書をうたっていच्छやいますけれども、自分の考えをいかに言葉にまとめて伝えるかということを本当に重視されていると思いました。あと、QRコードを開くと、そのものの情報だけが出てくるので迷わないというところと、加えて奥の細道の授業の時に見開きに地図が出ていて、どの地域のどの歌なのかというのが分かって、地理ではないですが、そういうところも入っていて興味を引く教科書だと思いましたので、光村図書出版に決めたいと思います。

以上です。

○栗原教育長 ありがとうございます。堀切委員お願いいたします。

○堀切委員 私も前回に引き続き光村図書出版を推したいと思います。前回の発言に追加ですが、いろいろな専門家、例えば先日学校管理職研修の講師をしてくださった工藤勇一先生の著書の中で、読解力は伝える力を突き詰めれば伸びると書いておられます。自分が発した言葉を相手がどう受け止めるか、反応を見ながら言葉を選ぶ経験を積み重ねることで、発信者の意図を想像できるようになるということのようなのですけれども、その点でも、やはり今、小柳委員がおっしゃったように表現することを大事にしている光村図書出版がいいと思います。

以上です。

○栗原教育長 ありがとうございます。それでは、私からも一言申し上げます。

前回の協議の中で、各教科に関する選定の視点、ポイントを私からも申し上げました。国語につきましては、そのポイントに基づき、学習の流れを説明するページが、光村図書出版の学びへの扉はコンパクトにまとめられていることを評価いたしました。総合的に見て光村図書出版が国語の教科用図書としてふさわしいと考えております。

以上、5人の意見が出ましたが、国語につきましては光村図書出版ということでまとめてまいります、それでよろしいでしょうか。

[「異議なし」との声あり]

○栗原教育長 ありがとうございます。

それでは、次に書写に移ります。これにつきましても石本委員より意見ををお願いします。

○石本委員 光村図書出版がいいと思っています。硬筆と毛筆を書写については学びますけれども、分離がされていて、前半に硬筆があつて授業の中でも恐らく使いやすいだろうと思います。それから硬筆の練習のページがとても豊富でした。それから毛筆については、「とん、すう、とん」という形で筆の運びも分かりやすく示されている点からも光村図書出版がよろしいかと思います。

以上です。

○栗原教育長 ありがとうございます。続きまして、伊藤委員お願いいたします。

○伊藤委員 私も光村図書出版にしたいと思います。教育出版は手本としてとても見やすいのではないかという特徴があつたのですけれども、全体的なバランスを考え、光村図書出版がいいのではないかと思います。

以上です。

○栗原教育長 ありがとうございます。続きまして、小柳委員お願いいたします。

○小柳委員 私も前回、光村図書出版、東京書籍で絞つたのですが、光村図書出版に決めたいと思います。

理由としては、他の委員の方もおっしゃっているように、毛筆と硬筆のところが分かれているところが使いやすいと思います。加えて、調査研究部会の調査結果を見ると、手書き文字の良さや地域特有の書体の紹介なども書いてありますし、フォントのデザインの違いなどの補足情報をQRコードから見るできるので、少し気になったらQRコードを開いてみると知識の幅が広がっていいかと思います。

以上です。

○栗原教育長 ありがとうございます。堀切委員お願いいたします。

○堀切委員 前回に引き続き光村図書出版です。鑑賞や表現など、高校の芸術科の書道につながる要素があるということを前回申し上げましたが、各者国語の教科書に出てくる文章で練習するという仕様になっていましたので、同じ発行者のほうが文字の練習に集中できてよろしいかと考えました。

以上です。

○栗原教育長 ありがとうございます。それでは、私からも申し上げます。

前回申し上げた通り、書写は年間の時数が限られる、その中で教科書自体が硬筆の練習に使用できることを私はポイントといたしました。その中で使用しやすさという点も含めて光村図書出版がふさわしいと考えております。

以上、5人の意見それぞれ光村図書出版ということでまとめてまいりたいと思いますが、皆さまよろしいでしょうか。

[「異議なし」との声あり]

○栗原教育長 ありがとうございます。

それでは、続きまして社会（地理的分野）に移ります。こちらにつきましても、石本委員よりご意見を願います。

○石本委員 前回の2者で悩んでいると申し上げたのですが、結論から申し上げますと帝国書院にしたいと思っております。地理的な見方や考え方を働かせて学習を進めていく、そういう授業をしやすい教科書かと思います。用語の解説のページの中に、そういうところ必ず出ていること、それから地図帳や小学校の学習事項との関連が大事だと思いますし、何より世界の地域、日本の地域、それぞれの特色がコンパクトに一目で分かるような工夫もされている、そのように思いますので帝国書院がいいと思います。

○栗原教育長 ありがとうございます。伊藤委員願います。

○伊藤委員 社会の地理的分野におきましては、帝国書院の教科書が、圧倒的に私にとっては見やすい、学びやすい、それから小学校からの学習のつながりという点からしても、多分先生方からしても教えやすい教科書なのではないかと思いますので、帝国書院を推したいと思います。

以上です。

○栗原教育長 ありがとうございます。続きまして、小柳委員願います。

○小柳委員 私も帝国書院に決めたいと思います。理由としては、絵や写真が多くて振り返りのページも見やすいということ、加えてQRコードをかざして見た時に情報がいろいろ出てくるのではなくて、この情報が欲しいと思っていたものが明確に出てくるので、すごく分かりやすいと思いました。あとは、補足資料や紙のワークシートの答えなど、そういったアイコンをかざすとすぐに出てくるので理解しやすく、混乱しないと思います。

以上で帝国書院に決めます。

○栗原教育長 ありがとうございます。それでは堀切委員願います。

○堀切委員 私も前回に引き続き帝国書院に決めたいと思います。今、小柳委員がおっしゃったように、子供は2次元コードをどんどん開くのですけれども、飽きっぽくて離脱するのも早いので、これと思ったらその情報が出てくるというのが一つありがたいと思いました。あとは、各者SDGs推しなのですけれども、アイコンを付ければいいのかという感じでもないと思うんです。

例えば、導入のページでいきなりアフリカの写真とともに貧困をなくそう、飢餓をゼロにしたら、ある意味では先入観を与えるような感じにもなりかねないので、導入はあくまでもタイトルにあるように写真を眺める、興味を引くだけ、いろいろ学んで最後の問題解決のページでSDGsのアイコンが付いている、未来のために考えられるようにと丁寧に導いているのが帝国書院だと思います。

以上です。

○栗原教育長 ありがとうございます。それでは、私からも一言申し上げます。

地理的分野でございますが、探究的な学習を行い、課題解決を図るための教科書として、

私も帝国書院がふさわしいと考えます。また、用語解説が当該ページ内に掲載されており、このことは生徒にとっても、とても使いやすいということ、そういったところも評価をいたしました。

それでは、地理的分野につきましては、皆さま帝国書院ということでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」との声あり〕

○栗原教育長 ありがとうございます。

では、続きまして、社会（歴史的分野）に移ります。こちらにつきましても石本委員よりご意見をお願いいたします。

○石本委員 社会は歴史的分野も帝国書院かなと思っています。文化史、地域史、それから社会史の割合のバランスがいいと思います。それから、タイムトラベルという取組をしておりますけれども、子供たちの学習意欲を喚起するのではないか、自分が調べるといふ、そういうポイントを重要視されているように思ひまして、見やすく分かりやすい、使いやすい教科書だと思いますので、帝国書院がいいと思います。

○栗原教育長 ありがとうございます。伊藤委員お願いいたします。

○伊藤委員 歴史的分野については、たくさんの発行者が参加しているということがありまして、また、私の最初の第一印象で、東京書籍の年表、全体的な流れというのがとても分かりやすく感じましたので、東京書籍と比べながら各者拝見させていただきました。各委員のいろいろなご意見を伺っていきますと、私も帝国書院が一番子供たちにとって分かりやすいのかなと思いました。それから、各時代の地域の営みや政治経済と結びついた文化を豊富に紹介しているという点から、帝国書院を推したいと思います。

以上でございます。

○栗原教育長 ありがとうございます。続きまして、小柳委員お願いいたします。

○小柳委員 私も前回、帝国書院と東京書籍と悩んでいます、という話をしたのですが、今回帝国書院に決めたいと思います。

理由としては、帝国書院はページを開いた時に右下に必ず確認しよう、説明しようというところがあって、この授業では、このページでは何を目的に授業を聞いたらいいかというのが分かりやすいです。一番の推しは、タイムトラベルです。絵から入って、この時代はどのような時代だったのかということが書いてあります。また、タイムトラベルや現在とのつながり、いろいろな視点で歴史を考えさせようと工夫されている教科書かと思いますので、帝国書院にしたいと思います。

以上です。

○栗原教育長 ありがとうございました。堀切委員お願いいたします。

○堀切委員 歴史的分野は、9者ありまして、全て読ませていただいて大変いろいろと考えさせられました。感想ですが、どれを選んでも、私たち大人がつくっている近代以降の歴史についてちょっと話しにくいという空気を変えないと、子供は安心して学べないのではないかと感じました。歴史に限らず大人が感情的に反応すれば、子供はこのことに触れるの

はよくないということを学ぶのみかなという感想を持ちました。

なので、まず子供が安心して学べる教科書の条件として、出来事と感情ができるだけ切り離されているもの、次に利害関係について多角的に書かれているものがありました。この2つをある程度満たすのが山川出版社と帝国書院でした。山川出版社は、内容はかなり難しめで、市の地域の子供たちのための学校ですから、帝国書院がいいと考えました。

以上です。

○栗原教育長 ありがとうございます。では、最後に私も歴史的分野について述べます。

石本委員、そして小柳委員からおっしゃっていただいたように、私もタイムトラベルはその時代がどういう時代だったかとても分かりやすいと思いました。また、石本委員と重複になりますけれども、文化史、地域史、社会史がバランスよく盛り込まれており帝国書院が、生徒に分かりやすい教科書だろうと私も判断をいたしました。

それでは、歴史的分野につきましては、帝国書院でまとめてまいりますのでよろしいでしょうか。

[「異議なし」との声あり]

○栗原教育長 ありがとうございます。

続きまして、社会（公民的分野）に移ります。こちらにつきましても石本委員よりお願いいたします。

○石本委員 社会となると帝国書院になってしまいますが、公民は導入が大事だと言われてはいますが、丁寧な導入の仕方、資料の説明がとても分かりやすいです。さらに当然ですが、現代の諸課題にもきちんと向き合う、そういう教科書であると思います。課題はある、その課題をどうするのかということを考えていく、そういう教科書だと思いますので、帝国書院にしたいと思います。

○栗原教育長 ありがとうございます。続きまして、伊藤委員お願いします。

○伊藤委員 私は、公民的分野は東京書籍、教育出版、帝国書院で悩みました。皆さまのご意見やいろいろな考えをお聞きしているうちに、現代社会の見方、考え方をふまえると、帝国書院が一番子供たちにとって学びやすい教科書なのではないかと思いました。

以上でございます。

○栗原教育長 ありがとうございます。続きまして、小柳委員お願いいたします。

○小柳委員 帝国書院と東京書籍とで悩んでいて、なかなか難しい判断なのですがどちらかに決めないといけないので、資料が新しい帝国書院にしたいと思います。調査研究部会の調査結果をみると、公民は本当に導入が大切だという意見があり、かつどんどん変わっていくものだと思いますので、資料が新しく見やすいことが重要ではないかと思い、帝国書院にしたいと思います。

以上です。

○栗原教育長 ありがとうございます。続きまして堀切委員お願いいたします。

○堀切委員 私も帝国書院で、理由については前回述べたとおりです。教員アンケートで、先

生が平易かつ正確な記述がなされていると書いておられたのですけれども、私もまさにその表現がぴったりだと思いました。社会は全部帝国書院に私は決めたのですけれども、ほかの委員もおっしゃっているように、導入で関心を持たせるところから問題解決まで思考のプロセス、数学で言うところの途中式を飛ばしてなくてとても丁寧だと感じました。対話もきちんと対話しやすい題材が選ばれていますので苦手意識がある子もそれぞれ理解を深められると感じました。

以上です。

○栗原教育長 ありがとうございます。では、私からも公民的分野について一言申し上げます。

導入部分の分かりやすさは、私は東京書籍と帝国書院が優れていると考えました。その中で新鮮な資料が多く、見やすく配列されている、また現代の諸課題に丁寧に対応している、その辺りは帝国書院がよろしいのではないかと考えたところでございます。

皆さまからご意見いただきましたが、社会（公民的分野）については帝国書院でまとめてまいります、皆さまよろしいでしょうか。

〔「異議なし」との声あり〕

○栗原教育長 ありがとうございます。

続きまして、地図に移ります。こちらにつきましても石本委員よりお願いいたします。

○石本委員 2者から選ぶということですが、地図帳なので見やすさが大事だと思うのですが、より見やすく資料が豊富でちゃんと整理されている、そういう観点から帝国書院にしたいと思います。

○栗原教育長 ありがとうございます。続きまして、伊藤委員お願いいたします。

○伊藤委員 地図というのは視覚から入る部分がとても大きいため、見やすく、それから小学校からの流れもある、帝国書院に決めたいと思います。

以上です。

○栗原教育長 ありがとうございます。小柳委員お願いいたします。

○小柳委員 前回は帝国書院と申し上げましたが、変わらず帝国書院にしたいと思います。理由は、前回の繰り返しになりますが、写真や絵が多いということ、加えて教科書の裏にもQRコードから参考コンテンツが見れるので、教科書を開かずとも裏からかざせばデータが見れるというのは使える子にとってはいいのかと思います。

以上です。

○栗原教育長 ありがとうございます。堀切委員お願いいたします。

○堀切委員 2者を比べまして、東京書籍は人口減少に関する資料が少し多くなっていて、これに対する危機感にはとても共感するものがあるのですけれども、社会は、全部帝国書院です、あえて東京書籍にする理由もないのかなと思ひまして、一緒に発行者の帝国書院でいいかと思います。

以上です。

○栗原教育長 では、私からも地図について一言申し上げます。

帝国書院は地図全体を通して共通の凡例が用いられており、非常に分かりやすいということ、加えて最新の資料がより豊富であります。そういったことで、私も帝国書院を推したいと考えております。

以上、教育委員がふさわしいと言える地図につきましては、帝国書院ということで皆さま一致をしております。これでまとめてよろしいでしょうか。

〔「異議なし」との声あり〕

○栗原教育長 ありがとうございます。

では、次に移ります。次は数学でございます。こちらにつきましても石本委員よりお願いいたします。

○石本委員 数学という教科はとにかく興味が湧くことがとても大事で、なぜだろう、どうしてだろうと考える時間がとても大事な教科だと思っています。そういう意味では、小学校からの系統性ということも含めて、子供たちが自分で学習を進めていけるような工夫が一番されていると感じた東京書籍がいいかと思います。

○栗原教育長 ありがとうございます。続きまして、伊藤委員お願いいたします。

○伊藤委員 数学という教科は、ほかの教科もみんな同じではあるのですが、やはり積み重ねが大事で、前の段階での理解ができていないと次に進めない、うまく答えを出すことができないという教科だとすると、やはり小学校からの流れ、一つ一つのステップを確実に上がっていった上に成り立ってくる学問ではないかと思います。東京書籍が一番少しずつステップを上げながら理解を深めていくという教科書であるのではないかと思いますので、東京書籍を推薦いたします。

○栗原教育長 ありがとうございます。続きまして、小柳委員お願いいたします。

○小柳委員 数学に関しては、前回3者挙げまして、決めることが難しかったのですが、東京書籍と新興出版社啓林館でどちらがいいかと考えました。どちらも良かったのですが、結果的に東京書籍にしました。なぜかと言うと、相似の説明をする時に参考の例としてタブレットで図を拡大すると、この形はそのまま変わらないけれども大きくなるという例がとても分かりやすいと思って、そういう例えを、現実で使っている作業を参考として出しているのがとてもいいと思いました。

また、練習問題などをする時に、昔はページの後ろに答えが載っているのを見て、答え合わせをしていたのですが、それだけではなくてQRコードからでも答えが確認できるので、自分に合う方法を生徒たちが選べる、後ろを見て丸付けをするタイプかQRコードをかざして見るタイプか選べるという良い点もあります。加えて、章末の問題が東京書籍は多く、レベル別でチャレンジできて、一人一人に合ったレベルで問題にチャレンジできる教科書かと思いました。

以上の点から東京書籍を選びます。

以上です。

○栗原教育長 ありがとうございます。続きまして、堀切委員お願いいたします。

○堀切委員 私は個人的には大日本図書の読み物がとても興味深くて、これも数学につながるのだと、こういう教科書で数学を勉強できたら、うれしかったと思います。けれども、前回伊藤委員が小学校との関連等に言及されていて、調査研究部会の研究結果を見ましても使うのは先生方、子供たちですし、積み重ねが非常に大きな要素である教科だと理解しておりますので、東京書籍にしたいと思います。

○栗原教育長 ありがとうございます。では、私から数学についてです。

私も総合的に見て東京書籍がふさわしいと考えています。導入、学びのページ、基本問題、小問題というように、多くの問題を解き進めながら生徒が主体的に学びやすい配列になっています。前回のポイントで申し上げましたが、各単元においてデジタルコンテンツによる補充問題や解決のヒント、解説つきの回答についても注目いたしました。数学が得意な生徒にも苦手な生徒にも対応している、その点を評価したところでございます。

数学につきまして、皆さまの意見が出そろいました。数学については東京書籍ということでもとめてまいります、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」との声あり〕

○栗原教育長 では、続きまして理科に移ります。こちらにつきましても石本委員よりご意見をお願いいたします。

○石本委員 理科という教科は実験が大事だと思います。実験が分かりやすい、教科書の中で迷子にならないで学習を進められる、写真やイラストがとてもダイナミックというのでしょうか、分かりやすく示されていて、子供たちの学習意欲を喚起しやすい、学習の流れもつかみやすいので、自ら探求的な学習が進められるのではないかとということで、東京書籍にしたいと思います。

○栗原教育長 ありがとうございます。続きまして、伊藤委員お願いいたします。

○伊藤委員 私も、実験が理科にとって大切なものであると思っております。教育出版と東京書籍で悩みましたが、やはり実験ページが分かりやすく整理されているというところで、私は東京書籍を推したいと思います。

以上です。

○栗原教育長 ありがとうございます。続きまして、小柳委員お願いいたします。

○小柳委員 私は、理科に関しては新興出版社啓林館を推したいと思います。例えば、中学校2年生の放射線のページがあるのですが、実は東京書籍さんと新興出版社啓林館で、とても悩んで新興出版社啓林館を選んだのです。放射線のページで東京書籍は放射線が何に使われているかという説明なのですが、新興出版社啓林館はX線をあてるとどうなるのか、お財布にX線を当てたらどう映るのかということが書いてあって、こっちのほうが理科という観点ではいいのかなと思いました。

加えて、新興出版社啓林館はQRコードの情報がとても充実していて、教科書を開かなくても本の表紙にQRコードがあって、各章に飛ぶことができ、かつ振り返りシートや用語テスト

もQRコードで読み取れますし、力試しの問題などもありますので、QRコードから行ったデータの操作性に関しても、新興出版社啓林館がいいかと私は思っています。

以上です。

○栗原教育長 ありがとうございます。続きまして、堀切委員お願いいたします。

○堀切委員 私は前回から東京書籍で意見は変わらないのですが、前回いろいろな意見が出まして、全部読んだら、本文にそこまで差がないという自身の発言について訂正したいと思いました。全部読んでみると、いわゆる第1分野と言われる物理、化学と第2分野の生物、地学ではかなり差があるように感じました。新興出版社啓林館もよかったなと思いました。よく生物は暗記科目と言われていたところがあるのですが、物語のように理解できて頭に入る、こういうのもあるなと思う部分もありました。

ただ、石本委員、伊藤委員がおっしゃったように、実験、観察は物理、化学、生物、地学全部の分野に共通する点と、物理、化学は計算が入ってきて、学習内容が複雑なので、実験の仕方と、そこからの公式を導く過程がやはり途中式を飛ばさないで丁寧に書かれている部分を理由に東京書籍にしたいと思います。

以上です。

○栗原教育長 ありがとうございます。では、私からも理科についてでございます。

私は東京書籍を推します。理由としましては、教科書の内容の構成が統一されていて、3年間を通じて生徒が整理をしながら学習がしやすい、そのような構成になっています。それと、デジタルコンテンツの充実です。2次元コードからさまざまな参考資料が視聴でき、自学自習に使えます。また、化学史や読み物資料が充実して、生徒の理解や興味を引き出す、そのような点を評価して私は東京書籍がふさわしいと考えています。

ここで、理科につきましてはそれぞれの委員からの意見が割れたところでございます。今5人の意見が出そろいましたが、小柳委員からは新興出版社啓林館という話が出ましたが、今それぞれの教育委員の意見等を聞いた上で、何かさらにご意見があったらお願いをいたします。

○小柳委員 実験が見やすいというのは確かに重要だと思いますので、東京書籍にします。

○栗原教育長 すみません、小柳委員からも非常に丁寧に教科用図書を見ていただいた中での推薦ということで、重々承知をいたしております。決して多数決ではなくて、小柳委員もご納得いただければ理科については東京書籍でまとめてまいりますと思いますがよろしいでしょうか。

〔「異議なし」との声あり〕

○栗原教育長 ありがとうございます。

続きまして、音楽（一般）に移ります。こちらにつきましても石本委員よりお願いいたします。

○石本委員 とにかく音楽という教科は楽しいということがとても大事で、楽しい授業をしていただける教科書ということで教育芸術社にしたいと思います。合唱の曲も新しい曲がたくさん入っておりまして、恐らく子供たちも、授業を進める際の先生方もとても扱いやすいの

ではないでしょうか。あとは、教材ごとに共通の事項があるのですけれども、指導内容というか活動の内容なども子供たちも見ても分かりやすいと思います。

以上です。

○栗原教育長 ありがとうございます。続きまして、伊藤委員お願いいたします。

○伊藤委員 音楽（一般）は2者でございます。立川では音楽は専科の先生がいらっしゃるの
で、その先生が使いやすい、あまり広くいろいろなことが書いてある必要が逆に言えばなく、
専科の先生が使いやすい教科書ならばいいのではないかと思いますので、教育芸術社の教科
書を推したいと思います。

以上です。

○栗原教育長 ありがとうございます。続きまして、小柳委員お願いいたします。

○小柳委員 私は、音楽（一般）に関しては、調査研究部会の調査結果をかなり参考にしまし
て、教育芸術社にしたいと思います。前回もそうでした。新しい曲が入っているというのは
生徒たちにとってとても親しみやすいと思いますし、先生方も教育芸術社のほうが全般的に
使いやすいという調査結果が載っていたと思います。加えて、著作権について取り扱いが十
分にあるということで、そういったところも大事かと思い、教育芸術社にします。

以上です。

○栗原教育長 ありがとうございます。それでは、堀切委員お願いいたします。

○堀切委員 前回そこまで大差がないと発言をしたような気がして、ちょっとそれも訂正して
おきたいと思うのですけれども、合唱曲を比較したところ、これは教育芸術社だと思いまし
た。2次元コードから伴奏がかけられるので少し歌ってみたのですけれども、曲がすてきな
だけではなくて、とてもいいと思ったのですけれども、男性ボーカルもきちんとメロディー
を担当するところが盛り込まれているんです。混声合唱はソプラノがメロディーの担当で、
アルトや男性パートは少し引き立て役みたいになりがちで、音楽の性質上仕方がないのです
けれども、実は男子は不満なのではないかと私は思っていました。教育芸術社の曲は、各パ
ートが順番にメロディーを担当して主役になったり、ソプラノがハモリ担当になったり、メ
ロディーがいろいろな絡み方をしていて飽きないと思いました。その点が大変工夫されてい
ていいと思いますので、教育芸術社を推したいと思います。

以上です。

○栗原教育長 ありがとうございます。それでは、音楽について私からも一言申し上げます。

私も教育芸術社がふさわしいと考えております。理由につきましては、教材ごとに指導内
容や活動のポイントが分かりやすく丁寧に記載されている点が授業で使いやすいと感じまし
た。また、教材名の横に生徒が授業で考えたいポイントが例示されており、学習が進めやす
くなっております。こういった点を評価し、音楽（一般）については教育芸術社がふさわし
いと考えます。

今、皆さまよりご意見をいただきました。意見をまとめると、音楽（一般）につきまして
は教育芸術社でまとめてまいりますと思いますがよろしいでしょうか。

[「異議なし」との声あり]

○栗原教育長 ありがとうございます。では、次に移ります。

次は、音楽（器楽合奏）でございます。こちらにつきましても石本委員よりお願いいたします。

○石本委員 器楽合奏ですけれども、私自身もギターを使って授業をやったこともあります。そうは言っても、やはり中学校ではアルトリコーダーを学習する機会が多いと思います。アルトリコーダーは左手の運指から入るのですけれども、そういう導入の仕方が丁寧で、すぐソプラノとアルトのアンサンブルであったり、アルト同士のアンサンブルであったり、と進んでいきますが、きちんとその辺が整理されて教材が組まれているなということ、そういう点から、子供たちが分かりやすい、親しみやすい、そういう教科書であり、興味がどんどん増すような仕組みがされているということで教育芸術社がいいと思います。

○栗原教育長 ありがとうございます。続きまして、伊藤委員お願いいたします。

○伊藤委員 私は、調査研究部会の調査結果を拝見して、教育芸術社がいいのではないかと思っております。

以上です。

○栗原教育長 ありがとうございます。続きまして、小柳委員お願いいたします。

○小柳委員 私も教育芸術社にしたいと思います。理由としては、調査研究部会の調査結果を見るとあまり差はないのかと思ったのですけれども、生徒の知っている曲が入っているということ、加えて選定検討委員会の報告書の1.教科用図書発行者の編修の趣意について、にもあるように、さまざまな音楽文化に触れられる教科書ということで、楽器の写真などが、教育芸術社のほうが世界の楽器などが載っていたという印象がありますので、教育芸術社にしたいと思います。

以上です。

○栗原教育長 ありがとうございます。堀切委員お願いいたします。

○堀切委員 私も前回に引き続き教育芸術社にします。前回の発言に追加して、今回は2次元コードの伴奏を聞いてみました。ピアノの伴奏だけではなくて、例えば「四季」より「春」だったらハープシコードやチェンバロ、ギターの音が入っていたり、たった8小節の練習曲にも伴奏が付いていたり、ソプラノリコーダーとアルトリコーダーは調が違うのですけれども、それぞれの調で伴奏が入っていたり、とても手厚くていろいろ楽しめると思いました。

以上です。

○栗原教育長 ありがとうございます。では、私からも音楽（器楽合奏）についてでございます。

少し石本委員の意見と重複しますが、リコーダーの指使いを順序立てて進めていくように曲が選曲されているため、非常に指導しやすいと理解をしております。リコーダーやギターのキーボードのコード表がページを開いてすぐに見られる、こういったことも生徒には分かりやすいのではないかと、そういったところを評価し、器楽合奏については教育芸術社がふさ

わしいと考えます。

皆さまより意見を出していただきましたが、音楽（器楽合奏）については教育芸術社でまとめるということによろしいですか。

〔「異議なし」との声あり〕

○栗原教育長 ありがとうございます。では、次に移ります。

続きまして、美術に移ります。こちらにつきましても石本委員よりお願いいたします。

○石本委員 教科がアートということで、当然ですけれども作品を鑑賞して、その作品から自らの創作へという流れがやはり美術という教科において、大事であると思います。いろいろな付属の資料、各分野の内容が多岐にわたって豊かであり、そのため授業で扱いやすいということ、それから、私が特にインパクトが強いと思ったのは、題材によってですけれども、作品を紹介するにあたって紙質の違いまでこだわりを持たれて教科書をつくっていること、子供たちにはとてもインパクトがあるだろうと思いますので、以上のことから、ぜひ光村図書出版の教科書を使ってもらいたいと感じました。

○栗原教育長 ありがとうございます。続きまして、伊藤委員お願いいたします。

○伊藤委員 作品のインパクトという点からすると、開隆堂出版のほうが少し優れている点があるのではないかと思いますけれども、光村図書出版が本当にいいなと感じられ、作品の良さが分かる教科書であると考え、また授業で使いやすいのではないかと思いますので、光村図書出版を推したいと思います。

○栗原教育長 ありがとうございます。続きまして、小柳委員お願いいたします。

○小柳委員 私も開隆堂出版のぽこぼこの教科書もとても良かったのですが、光村図書出版に決めたいと思います。

理由としては、作業が別冊でまとまっていて分かりやすいということと、写真が多くとても綺麗です。石本委員もおっしゃっていたのですが、教科書の素材が和紙になる部分があり、見ても楽しく触っても楽しく、そういった教科書かと思います。調査研究部会の調査結果で、2、3年生の内容でジャポニズムの浮世絵作品が多数扱われているという点もいいと思います。日本の絵画についても多く取り扱っているほうがいいと思います。以上の点から光村図書出版に決めたいと思います。

以上です。

○栗原教育長 ありがとうございます。それでは、堀切委員お願いいたします。

○堀切委員 前回の定例会でいろいろな意見が出たので、もう一度見てみたのですが、やはり光村図書出版がいいかと思います。今、小柳委員がおっしゃいましたが、表現技法について別冊にまとめられているので、作品鑑賞と完全に別に分けられていることによって鑑賞に集中でき、本当に美術館に行ったような、作品に入り込めるつくりになっているのがとてもいいと思います。

以上です。

○栗原教育長 ありがとうございます。それでは、私からも美術について一言申し上げます。

他の委員と重複する意見でございますが、別冊の資料が3年間を通して活用できるだろうということ、加えて、取り上げている作品で実物大の作品、例えば鳥獣戯画であったり富嶽三十六景であったり、こういったものが非常に見やすく分かりやすく掲載されています。また、見開きのページが何ページもあり、インパクトが強く、作品の迫力を感じました。このような形で載っている風神雷神図屏風やゲルニカなどの作品に、生徒は強く関心を示すだろうと感じております。

それでは、美術につきまして皆さまからご意見をいただきました。光村図書出版でまとめてまいりますのでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」との声あり〕

○栗原教育長 ありがとうございます。

続きまして、保健体育に移ります。こちらにつきましても石本委員よりお願いいたします。

○石本委員 年間を通して授業のこま数が少ない分野になるかと思うのですが、見やすいということ、それから新しい感覚、視点、共生社会や多様性など、そういう現代の重要なニーズ等も丁寧に扱っているということで、大修館書店がいいかと思います。

○栗原教育長 ありがとうございます。続きまして、伊藤委員お願いいたします。

○伊藤委員 私は、保健体育については全体的に、掘り下げ方がもう少し現代的な、今の若い人たちのいろいろな知識に対して応えられるような教科書があっていいのかなと思うのですが、この中では大修館書店がいろいろな人たちのことを丁寧に書いていると思われるので、大修館書店を推したいと思います。

○栗原教育長 ありがとうございます。続きまして、小柳委員お願いいたします。

○小柳委員 今、伊藤委員からもお話がありましたが、確かにもっと掘り下げてしまっているのではないかと思うところがあります。個人的には、Gakken がいいと思っています。大修館書店と Gakken で悩んでいるのですが、調査研究部会の調査結果をみると、どちらも先生からの評価は悪くないと思います。その中で差としては、Gakken では性感染症をコンドームで防止できるということが書いてあって、結構掘り下げた内容が入っているかと思います。ネットなどから、中学生もいろいろな情報を知っているかと思います。わざわざ隠さなくてもいいというか、もっとオープンにしても、コンドームぐらい説明してもいいのではないかとと思うので、Gakken がいいかなと思います。

結局、こういう性教育がきちんとできていないことが、自分たちの自己肯定感が低いことにも関係していると思っていて、でも教科書はルールでそういうのを入れてはいけないと決まっているので、ここは行政の方たちに頑張ってもらって、別な人が教える仕組みをつくるほうがいいかと思います。とはいえ、個人的には Gakken がいいのですが、教えるのは学校の先生で、少し先生には荷が重くなってしまうかと思うので、今回は大修館書店にしたいと思います。

以上です。

○栗原教育長 ありがとうございます。それでは、堀切委員お願いいたします。

○堀切委員 私も大修館書店が、「性」についての固定的な考え方に気付こうという内容を見開きで取り扱っていましたが、どういう文脈なら当事者の方にお話ししていいかということがきちんと分かるので、その点がいいと思いましたが、伊藤委員、小柳委員と同じで性教育については、どれも不十分だと思います。保健体育に限らず、理科の生物分野や道徳でも公民でも家庭でも、どの教科も関係があるのにどこも取り扱わない感じで、先ほどの歴史と同じように、大人が触れてはいけないという雰囲気をつくっていることについて、もっと考えないといけないと思います。

以前、教育委員会定例会で性教育について伺った時に、歯止め規定があるので、というふうにご説明いただいたのですが、都の教育委員会か、地域の理解があればやってもよいという見解だったと思いますので、これから地域差がとて出てくる場所だと思っています。一市民として、最近の性教育は、私たち世代の危機感からなのか、とてもいい本がたくさん出ていますので、まずはその本を図書館にリクエストするところから始めようかと思いました。

以上です。

○栗原教育長 ありがとうございます。それでは、私も保健体育について一言申し上げます。

私も推したい発行者につきましては大修館書店になります。良い点としまして、性の多様性については、大修館もそうですけれども東京書籍についてもコラム、資料が充実していると読ませていただきました。その中でも、大修館書店についてはデジタル教材において知識を確認するクイズや動画、ワークシートがあり、この点を評価したところでございます。

以上、教育委員の皆さまから意見をいただきました。保健体育については大修館書店ということでもまとめてまいりますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」との声あり〕

○栗原教育長 ありがとうございます。

続きまして、技術分野に移ります。石本委員よりお願いいたします。

○石本委員 技術も家庭もそうですけれども、授業のこま数が少ない中で学習するということなので、難しい教科だと思っています。それだけにやはり見やすい教科書というのが大事だと思っています。今回決め手にしたのは、SDGsを主に大事に授業の中で使えるようにという工夫、それから情報モラルも注意を喚起するような詳しく書いてある点です。それから、生活の場で実際に使用されている製品などを具体的に取り扱っていて、生活感覚として分かりやすいということで、イラストも含めて、東京書籍がいいかと思います。

○栗原教育長 ありがとうございます。続きまして、伊藤委員お願いいたします。

○伊藤委員 今、石本委員がおっしゃったように、こま数が非常に少ない教科なので、先生方は教え方が難しいのではないかと考えた時に、やはり写真や情報が多く載せられているという東京書籍を推したいと思います。

以上でございます。

○栗原教育長 ありがとうございます。続きまして、小柳委員お願いいたします。

○小柳委員 私は、前回、開隆堂出版と東京書籍が悩んでいますという話だったのですが、開隆堂出版は、CPUやOSなどに多くのページを割いて説明していました。とても深いけれども、難しいことを説明していて、メカが好き な子にとってはかなりいいかという感じです。東京書籍に関しては、そういう詳しい説明ではなく、簡単に広く説明している印象があり、子供がどこに興味を持つか分からないので、広く情報が載っているほうがいいのかと思います。また、身近に応用されている例などが多く載っていること、情報モラルについて分かりやすい解説があるということ、悩んだのですけれども、以上の点から東京書籍に決めたいと思います。

以上です。

○栗原教育長 ありがとうございます。堀切委員お願いいたします。

○堀切委員 私も東京書籍です。理由については、小柳委員と同じなのですが、もう一つは、技術の見方、考え方を使った課題解決までのプロセスというのが一番初めのガイダンスに書いてあって、課題解決までのプロセス、数学で言うところの途中式が漫画で説明されていました。

例えば、おばあちゃんが玄関の段差で転んでしまったという例があったのですが、物を作って解決するという、技術が苦手でそういう発想が全く出てこない私は、股関節を鍛えればと思ってしまってそこで引っかかってしまいます。けれども、そういう生徒も、物で解決するという方法を選ぶ場合には、4つの視点が大事だと、こんなものが欲しいという社会からの要求のほかに、安全性、環境への負荷、経済性という4つの視点から最適化を図るのだと、このように考えると抜けがなくいいものが作れ、消費者として物を選ぶ基準としてもいいと書かれていました。日常生活に役立つ視点で、そこが分かりやすいのがとてもいいと思いました。

以上です。

○栗原教育長 ありがとうございます。それでは、技術分野についても私から一言申し上げます。

ふさわしい発行者につきましては、東京書籍と考えます。東京書籍は4つの領域、これは、材料と加工の技術、生物製造の技術、エネルギー変換の技術、情報の技術、この4つの領域で必ず第2章を問題解決として丸ごと章立てしております。学んだことを実生活に活かし問題解決をする態度が醸成できると考えます。また、東京書籍は写真を多く使用しているというのが特徴で、実生活での問題解決をイメージさせやすく技術の学習への意欲、興味を喚起できる点を評価したところでございます。

それでは、技術分野につきまして、皆さまからご意見賜りましたが、東京書籍でまとめてまいりますのでよろしいでしょうか。

[「異議なし」との声あり]

○栗原教育長 では今度は家庭分野に移ります。こちらにつきましても石本委員よりお願いいたします。

○石本委員 東京書籍がいいかと思っています。量と質のバランスがいいです。教科書がとにかく見やすくて分かりやすくて、高齢社会、介護についても述べられています。イラストもとても親しみやすく、写真もたくさん使われていて、分かりやすい教科書がいいと思いますので、東京書籍にしたいと思っています。

○栗原教育長 ありがとうございます。伊藤委員お願いいたします。

○伊藤委員 私も東京書籍を推したいと思います。現代は、家庭ごとに様々なご家庭があるかと思っています。東京書籍の教科書はいろいろな例を使って、家庭によって様々な状況があると教えてくれているような気がいたしますので、私は推したいと思います。

以上です。

○栗原教育長 ありがとうございます。続きまして、小柳委員お願いいたします。

○小柳委員 私は、基礎食品群のページを比較して決めたのですが、開隆堂出版と東京書籍とどちらがいいかと考えた時に、東京書籍の基礎食品群のページは、開いて実物大の食材が載っていて分かりやすいと思いました。バランスの良い献立作りというのも詳しく入っていて、食育は本当に大事だと思いますので、いいと思います。QRコードをたどっていくと年齢を入れて献立を自分で組み立てて、たんぱく質をこれだけ取っているなど、そういったこともできるのでゲーム感覚で面白いと思いました。

また、調査研究部会の調査結果から、初任者でも教えやすいということと、先ほど申し上げたように、QRコードの情報がものすごく豊富で、自学自習が可能ということ、また、最初に家庭のことの章があり、いろいろほかのことを学んで、最後にまた家庭や地域につながっている構成になっていることで、家庭科は自分の生活にどのようにつながっているかというのが理解できるところもいいと思います。一番はQRコードの情報が豊富というのが私の中ではよかったので、東京書籍に決めたいと思います。

以上です。

○栗原教育長 ありがとうございます。堀切委員お願いいたします。

○堀切委員 家庭に関しては、生きる力や探求学習など、今、学校教育でとても大事と言われていることを、一番実践しやすく、恐らく生徒自身が効果も感じやすいという、とても可能性がある教科である割には、どの教科書もいまひとつ自分事として考えにくいという印象です。

家庭のあり方が変わっているというのも一つあるのかもしれませんが、大学の学部なども生活科学というような学部になってきていたりします。進路に関係ある子供がとて多いので、例えば理科の教科書が科学やサイエンスというタイトルになっているように、生活科学などの名称にしてくださいと取りつきやすいと思いました。

読み物としては開隆堂出版がためになりそうだと前回お話したのですが、東京書籍がガイダンスのところが技術と同じくとても丁寧に、乳児期から高齢期までのライフステージに触れていました。今は関係がなくても将来こういうことになっていくというのが分かるようになっていて、例えばアメリカだと家庭科という概念が日本とは少し違うところがあると思う

のですけれども、キャリア教育が結構入ってきているので、ここに「ライフキャリアレインボー」という考え方が載っていたらとても考えやすいのではないかと思います。

それからは、地域のことなので立川市だと立川市民科などともっとつなげて子供たちに興味を持ってもらう工夫が必要かなと思いました。その意味で、今立川市民科でやっていることとのつながりなども考えて東京書籍を推したいと思います。

以上です。

○栗原教育長 ありがとうございます。では、私も家庭分野について一言申し上げます。

小柳委員と意見が重複しますが、東京書籍は内容のまとまりごとに最終章に持続可能な〇〇生活などと章立てをしており、実際の家庭生活を振り返ることができる構成になっているということ、加え、若手からベテラン、また時間講師も授業を組み立てやすいという、そういった構成について東京書籍が優れていると考えております。

それでは、皆さまからご意見をいただきました。家庭分野については東京書籍でまとめるということで、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」との声あり〕

○栗原教育長 ありがとうございます。

続きまして、英語でございます。こちらにつきましても石本委員よりお願いいたします。

○石本委員 教科書が見やすい、分かりやすい、そういう工夫がされているか、それから経験が比較的少ない若い先生でも自信を持って学習を進められる、そういう工夫がされているかということを見ていました。子供たち自身が学習、既習内容をしっかり理解し、それを定着させていく、さらに発展的に自分でまた学習を進めていける、以上のような工夫がしっかりされているということで、東京書籍にしたいと思います。

○栗原教育長 ありがとうございます。続きまして、伊藤委員お願いいたします。

○伊藤委員 私も、東京書籍を推したいと思います。立川の子供たちに合っているかということを考えて、もちろん立川の子供たちにもいろいろな方がいらっしゃるのですけれども、努力に応じて分かりやすく、発展できるような教科書であるかというところを考えた時に、東京書籍がいいのではないかと考えております。

○栗原教育長 小柳委員お願いいたします。

○小柳委員 英語に関しては、私は三省堂と東京書籍でとても悩んでいるのですが、どちらもいい教科書で、先生の評価もいいです。単語をどう発音するかという発音の部分を東京書籍は、人間がAやBなど言っているものを聞くのですが、三省堂は機械の、AIのようなものが横を向いていて、舌をこの辺にくっつけるんだというのが見えて、発音の仕方という点では三省堂のほうが分かりやすく感じたため、個人的には三省堂にしたい気持ちはあります。ですが、子供たちが使うとなった場合に、学ぶバランスが他者と少し違う、現在完了形が2年生に入っているということで少し学ぶバランスが違うので、英語をここでつまづいてしまって嫌いになってしまう子がいたらということが少し懸念点としてあります。

一方、東京書籍は、選定検討委員会の報告書の1.教科用図書発行者の編修の趣意について、

に誰一人取り残さない英語教育を目指した教科書とありますが、その通りだと思いますので、おのおの自分に合ったレベルで、東京書籍はQRコードの情報も豊富ですし、一人一人のレベルに合っているほうがいいのかと思います。三省堂もいいのですが、誰一人取り残さないのところで東京書籍に決めました。

以上です。

○栗原教育長 ありがとうございます。堀切委員お願いいたします。

○堀切委員 前回本文とデジタル機能を中心に、その点で東京書籍が一番いいと言ったのですが、小柳委員の三省堂の現在完了形が絵で説明されているという発言がありまして、再度、文法事項をよく見てみました。そうしたら、個人的には光村図書出版の3年生の巻末にある英語の仕組みというところで、基本動詞のイメージといいますか、haveの「所有している」というイメージが「経験を持っている」という表現になりますという、日本語と英語で考えてしまうと概念が違うので、そこでつまづく子がとても多いと思うのですが、そういうことかと仕組みが分かるというのは、腑に落ちた感じでとてもいいと思いました。

しかし、3年間無事に終わらないとそこにたどり着けないということと、また、令和4年度でも273人の不登校の中学生がいて、私も学校に行けない時期があったので、学校に行けなくても追いつけそうな感じ、最も挫折しにくいのは東京書籍かなと思いましたので、東京書籍を推したいと思います。

以上です。

○栗原教育長 ありがとうございます。では、英語につきまして私から一言申し上げます。

まず、4技能5領域の活動バランスがよく、教科書に沿って授業を進めるだけで授業の質が担保される、これが東京書籍であると考えています。また、話す、書く、こういった発信語彙が少なめでございます。生徒の負担が軽減されている、また、デジタルコンテンツが非常に使いやすく、さまざまな音声の再生方法が選択できたり動画で文法説明が視聴できたりと自主学习にも適している、この点を評価しまして、英語は東京書籍がふさわしいと考えます。

皆さまから意見をいただきました。英語につきましては東京書籍でまとめるということですのでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」との声あり〕

○栗原教育長 それでは、最後、道徳でございます。これにつきましても、石本委員よりご意見をお願いいたします。

○石本委員 各者、道徳については本当に読み応えがあるものだったのですが、まず見やすい、読みやすい、内容が充実している、それから人と関わること、社会の中で生きていくということを子供自身が考えることを大事にするということなので、どう生きるかということも当然問われていきます。そういった探求を進める工夫がきっちりなされていて、しかも発問についても具体的で分かりやすいのではないかと思いますので、光村図書出版がいい

と思います。

○栗原教育長 ありがとうございます。続きまして、伊藤委員お願いいたします。

○伊藤委員 道德につきましては、本当に各者工夫されていて、例えば「橋の上のおおかみ」が中学の教科書にも載っている発行者が、前は1者ぐらいでしたけれども、今は複数の発行者で取り扱っています。道德の教科書については各者の工夫が随分見られると思っております。ただ、いいお話だけ並べていればいいのかなど、子供たちが自分でうまく考えることができるような流れというのが、分かりやすく考えやすいというところから考えた時に、光村図書出版が一番できているのではないかと考えました。

以上でございます。

○栗原教育長 ありがとうございます。小柳委員お願いいたします。

○小柳委員 私は前回、東京書籍と光村図書出版で悩んでいますということでお話ししました。2つに関してあまり差はなく、どちらも素晴らしい教科書だと思うのですが、光村図書出版の22のキーワードというのがページの最初のほうにあります、それが毎年出てきて、この物語は何を考える物語なのかというのが明確に書いてあるので、子供たちが迷わないかなと思いましたので光村図書出版にしたいと思います。選定検討委員会の報告書の1.教科用図書発行者の編修の趣意について、にも道德科として人権に対する知識と考え方を学びということが書いてあって、本当に人権に関しての知識というのはとても大事で、ただ、そこさえしっかり学んでいけば、意見はいろいろあっていいし、正しい答えはないと思うので、良心の押し付けのようなことがないようにしてほしいと思います。

光村図書出版にしたいと思います。

以上です。

○栗原教育長 ありがとうございます。それでは、堀切委員お願いいたします。

○堀切委員 私も前回に引き続き光村図書出版にしたいと思います。石本委員は読み応えがあるとおっしゃっていて、伊藤委員もいい話がたくさんとおっしゃったのですが、私も同じようなイメージがあって、道德は概して読み終わると心にずんと来るような話が多くて、1時間だとその作品の余韻に浸りつつ、あまり自分事に帰ってこれないまま最後は駆け足で終わってしまうという感じになりがちでした。そうすると国語科の授業とあまり変わらないような結果になってしまったりすると思います。その中で、光村図書出版は日常のちょっとしたお話が多くて、身近な違和感に気付いて考えて行動を変えてみようという設計になっていてとても使いやすいのではないかと思います。

以上です。

○栗原教育長 ありがとうございます。では、道德につきまして私からも一言申し上げます。

私も推薦するのは光村図書出版となります。理由としましては、道德の学習を進めるためのページを設定し、道德で何を学ぶのか、どう考えるのかを丁寧に記載しております。教材を通しての問いとテーマに迫るための問いが示されており、考えを深めることができるように工夫をされています。また、教材に長いものもありますけれども、登場人物の簡単な紹介

があることも生徒の理解につながる、こういった配慮がなされていると考えております。

それでは、皆さまから意見をいただきました。道徳につきましては、光村図書出版でまとめてまいりますがよろしいでしょうか。

〔「異議なし」との声あり〕

○栗原教育長 ありがとうございます。長い間ご協議いただきましてありがとうございました。それでは、教育委員会の意見について改めて確認をさせていただきます。教科ごとに申し上げます。

国語につきましては光村図書出版、書写につきましては光村図書出版、社会の地理的分野については帝国書院、歴史的分野については帝国書院、公民的分野については帝国書院、地図につきましては帝国書院、数学につきましては東京書籍、理科につきましては東京書籍、音楽の一般につきましては教育芸術社、音楽の器楽合奏については教育芸術社、美術につきましては光村図書出版、保健体育につきましては大修館書店、技術家庭、技術分野につきましては東京書籍、家庭分野につきましては東京書籍、英語につきましては東京書籍、道徳につきましては光村図書出版という結果になりますが、皆さまご異議ございませんでしょうか。

〔「異議なし」との声あり〕

○栗原教育長 では、ご異議ございませんので、令和7年度使用立川市立中学校教科用図書の採択についてを追加議案として提出させていただきます。

それでは、事務局は追加議案の審議の準備をお願いいたします。

なお、追加議案につきましては、資料の準備ができ次第お諮りをいたします。少し協議が長くなりました。今から5分間休憩を取ります。

暫時休憩といたします。再開は15時ちょうどといたします。

午後2時55分休憩

午後3時00分再開

○栗原教育長 では、休憩に引き続き、会議を再開します。

◎議 案

(1) 議案第31号 「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」について

○栗原教育長 続きまして、1議案、議案(1)議案第31号、「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」について、を議題といたします。

臼井教育総務課長、説明をお願いいたします。

○臼井教育総務課長 それでは、議案第31号についてご説明いたします。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理、運営及び施行の状況について点検・評価し、その内容を報告書としてまと

めました。点検・評価の対象は令和５年度における教育委員会３活動及び教育委員会所管の４つの分野別個別計画である第３次学校教育振興基本計画、第６次生涯学習推進計画、第３次図書館基本計画及び第４次子ども読書活動推進計画に掲げられている施策から抽出した１９施策となります。

本報告書につきましては、本年４月の第８回立川市教育委員会定例会において点検・評価に係る基本方針を定め、以降３回にわたり教育委員会定例会で協議等を行うとともに、行政と学識経験者３名での意見交換会を実施し、意見聴取を行った上で内容を取りまとめ、再度教育委員の皆さまにご協議いただき、本日議案として提出したものでございます。

なお、こちらの報告書につきましては、９月の市議会文教委員会において報告するとともに、市ホームページにて公表いたします。

説明は以上でございます。

○栗原教育長 説明ありがとうございました。これより質疑に移ります。説明内容を踏まえご質疑をお願いします。

〔「ありません」との声あり〕

○栗原教育長 質疑がないようでございます。

それではお諮りいたします。１議案（１）議案第３１号、「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」について、は提案のとおり承認することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」との声あり〕

○栗原教育長 異議なしと認めます。よって、１議案（１）議案第３１号、「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」について、は承認されました。

◎議 案

（２）議案第３２号 令和７年度使用立川市立小学校教科用図書の採択について

○栗原教育長 続きまして、１議案（２）議案第３２号、令和７年度使用立川市立小学校教科用図書の採択について、を議題といたします。

片山主任指導主事、説明をお願いいたします。

○片山主任指導主事 それでは、議案第３２号、令和７年度使用立川市立小学校教科用図書の採択について、ご説明いたします。

資料の令和７年度使用立川市立小学校教科用図書採択一覧をご覧ください。

現在市内の小学校では令和５年度に採択された教科用図書、この後教科書と呼ばせていただきます、を使用しております。現在使用中の教科書は十分な調査研究の結果を踏まえて採択がなされており、本年度の教育活動においても確実に活用され、子供たちの学びを支えていることから、令和７年度使用教科用図書採択については令和５年度に採択された教科書と同一のものを採択することとするものです。

説明は以上です。よろしくご審議の上、ご承認くださいますようお願いいたします。

○栗原教育長 説明ありがとうございました。これより質疑に移ります。説明内容を踏まえご

質疑をお願いいたします。

[「ありません」との声あり]

○栗原教育長 質疑ないようでございます。

それではお諮りいたします。1 議案（2）議案第 32 号、令和 7 年度使用立川市立小学校教科用図書の採択について、は提案のとおり承認することにご異議ございませんか。

[「異議なし」との声あり]

○栗原教育長 異議なしと認めます。よって、1 議案（2）議案第 32 号、令和 7 年度使用立川市立小学校教科用図書の採択について、は承認されました。

◎議 案

（3）議案第 33 号 令和 7 年度使用立川市立小学校特別支援学級教科用図書の採択について

○栗原教育長 続きまして、1 議案（3）議案第 33 号、令和 7 年度使用立川市立小学校特別支援学級教科用図書の採択について、を議題といたします。

片山主任指導主事、説明をお願いいたします。

○片山主任指導主事 それでは、議案第 33 号、令和 7 年度使用立川市立小学校特別支援学級教科用図書の採択について、ご説明いたします。

小学校特別支援学級で特別の教育課程を編成している場合、学校教育法附則第 9 条及び同法施行規則第 139 条の規定により、当該学年用の文部科学省検定済み教科用図書、以後教科書と言わせていただきます、いわゆる通常の学級と同じ教科書を使用することが適当ではない場合は、設置者の定めるところにより他の適切な教科書を使用することができることとなっております。本案は、お配りした採択一覧により、立川市立小学校の特別支援学級が令和 7 年度に教科書として使用する図書の採択をご提案するものです。

なお、採択する図書につきましては、東京都教育委員会が各自治体の採択等の状況を踏まえ調査研究しているもののほか、学校が独自に調査研究し選定しているものになります。よろしくご審議の上、採択いただきますようお願いいたします。

説明は以上です。

○栗原教育長 説明ありがとうございました。これより質疑に移ります。説明内容を踏まえご質疑をお願いいたします。伊藤委員お願いいたします。

○伊藤委員 以前、発行されなくなってしまったということがありましたけれども、一覧に書いてある教科書については来年度も発行されるということは大体決まっているものなのでしょうか。

○栗原教育長 片山主任指導主事お願いします。

○片山主任指導主事 現時点で発行されるという認識をしております。

以上です。

○栗原教育長 ほかいかがでしょうか。石本委員お願いいたします。

○石本委員 特別支援学級については、それぞれ一人一人の障害であったり、特性であったりということを先生方がよくご存じの上、ご理解の上でご指導なさっていて、その上で選ばれている教科書だと認識しておりますので、このように進められればよいと思っております。

○栗原教育長 ありがとうございます。ほかはいかがでしょう。

[「ありません」との声あり]

○栗原教育長 ほかないようでございます。

それではお諮りをいたします。1議案(3)議案第33号、令和7年度使用立川市立小学校特別支援学級教科用図書の採択について、は提案のとおり承認することにご異議ございませんか。

[「異議なし」との声あり]

○栗原教育長 異議なしと認めます。よって、1議案(3)議案第33号、令和7年度使用立川市立小学校特別支援学級教科用図書の採択について、は承認されました。

◎議 案

(4) 議案第34号 令和7年度使用立川市立中学校特別支援学級教科用図書の採択について

○栗原教育長 続きまして、1議案(4)、議案第34号、令和7年度使用立川市立中学校特別支援学級教科用図書の採択について、を議題といたします。

片山主任指導主事、説明をお願いいたします。

○片山主任指導主事 それでは、議案第34号、令和7年度使用立川市立中学校特別支援学級教科用図書の採択についてご説明いたします。

先ほどのご説明と重なる部分も多いですが、改めて説明をさせていただきます。

中学校特別支援学級で特別の教育課程を編成している場合、学校教育法附則第9条及び同法施行規則第139条の規定により、当該学年用の文部科学省検定済み教科用図書、いわゆる教科書になります、通常の学級と同じ教科書を使用することが適当ではない場合は、設置者の定めるところにより他の適切な教科書を使用することができることとなっております。本案は、お配りした採択一覧により立川市立中学校の特別支援学級が令和7年度に教科書として使用する図書の採択をご提案するものとなります。

なお、採択する図書につきましては、東京都教育委員会が各自治体の採択等の状況を踏まえ調査研究をしているもののほか、学校が独自に調査研究し選定しているものであります。よろしくご審議の上、採択いただきますようお願いいたします。

説明は以上です。

○栗原教育長 説明ありがとうございました。これより質疑に移ります。説明内容を踏まえご質疑をお願いいたします。小柳委員お願いいたします。

○小柳委員 1つ質問です。先ほど小学校は1人に対して教科書1つなど、結構レベル別にはばらけていたと思うのですがけれども、中学生になると、例えば皆さん軽度Cの計のところ29

人が1つの教科書を使うということは、その29人それぞれにこの1つの教科書でレベルが合っているのか。例えば、中高生のための国語という教科書が29人にきちんと合っている教科書なのか、他にもう少しレベル別に分けた教科書は必要ないのでしょうかという質問です。

○栗原教育長 片山主任指導主事お願いいたします。

○片山主任指導主事 ご質問ありがとうございます。こちらにお示ししている教科書ですけれども、学校ごとで子供たちの実態を踏まえて必要に応じて、このような形でお示ししております。学校によっては、教科書をそのままいきますというところもありますので、全ての学校が申請しているわけではありません。ですから、認識としては各学校で子供たちの状況を丁寧に見極めた中で必要な教科書について選定をお願いしているという形になります。

○栗原教育長 続きまして、野津統括指導主事より補足説明お願いいたします。

○野津統括指導主事 軽度Cに偏っているというお話の中で、この軽度A、B、Cにつきましては、小学校も共通して同じ基準を用いて示しているものになりますので、中学校になりますと、やはり軽度がCの段階のお子さんが多くなるため、偏っているような形になっています。

今のところ、一般図書を出してきている学校につきましては1校のみという形で、ほかの学校は通常の学級の教科書を使ってという形になっておりますので、冊数が少なくなっているという状況になっております。

以上です。

○栗原教育長 小学校段階ですと特別支援学級にはさまざまな障害の程度のお子さんがいらっしゃいますが、中学校に入学する際に就学相談等で特別支援学校を選ぶ生徒さんもいらっしゃいます。そうすると、障害が軽度の方が多くなるということでございます。

では、ほかご質問はございますでしょうか。堀切委員お願いいたします。

○堀切委員 中学校の教科書を改めて見て、こういうことを学んでいるのだなとよく分かったので、特別支援教育に関して全然知らないことが多いので、もし教科書、小学校の教科書も含めてですが、採択した教科書を見る、または購入することができるという場所があるのでしょうか。

○栗原教育長 野津統括指導主事お願いいたします。

○野津統括指導主事 特別支援学級で選定している教科書ですけれども、一般的に販売されている図書になりますので、図書館や書店等でも実際に手に取ってみることは可能になっております。

○栗原教育長 図書館の中にこの図書が全て含まれているかどうかは、今はすぐには分かりませんが、黒島図書館長に図書館として蔵書している本かそれ以外かを調べていただき、教育委員の皆さまにも後日資料提供をさせていただきます。堀切委員よろしいでしょうか。

○堀切委員 はい。

○栗原教育長 ほかはどうでしょうか。よろしいでしょうか。

[「ありません」との声あり]

○栗原教育長 ほかに質疑がないようでございます。

それではお諮りします。1議案（4）議案第34号、令和7年度使用立川市立中学校特別支援学級教科用図書の採択について、は提案のとおり承認することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」との声あり〕

○栗原教育長 異議なしと認めます。よって、1議案（4）議案第34号、令和7年度使用立川市立中学校特別支援学級教科用図書の採択について、は承認されました。

◎議 案

（5）議案第35号 令和7年度使用立川市立中学校教科用図書の採択について

○栗原教育長 続きまして、1議案（5）議案第35号、令和7年度使用立川市立中学校教科用図書の採択について、を追加議題といたします。

初めに、資料の配布をお願いいたします。

この件につきましては、片山主任指導主事、説明をお願いいたします。

○片山主任指導主事 先ほど丁寧にご協議いただきありがとうございました。

それでは、議案第35号、令和7年度使用立川市立中学校教科用図書の採択について、ご説明いたします。

先ほどご協議いただいた内容を踏まえまして、裏面のとおりの一覧にまとめさせていただきました。この内容についてご審議の上、採択いただきますようお願いいたします。

説明は以上です。

○栗原教育長 説明ありがとうございました。これより質疑に移ります。説明内容を踏まえご質疑をお願いいたします。皆さまよろしいでしょうか。

本定例会の冒頭で片山主任指導主事より説明があった来年度の取り扱いについては、欄外の米印のところに改めて説明をしております。この内容が冒頭に説明した注意点になっており、皆さまにはご了解をいただいたということになります。

それでは、ご質疑ないということよろしいでしょうか。

〔「ありません」との声あり〕

○栗原教育長 ないようでございます。

それではお諮りします。1議案（5）議案第35号、令和7年度使用立川市立中学校教科用図書の採択について、は提案のとおり承認することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」との声あり〕

○栗原教育長 異議なしと認めます。よって、1議案（5）議案第35号、令和7年度使用立川市立中学校教科用図書の採択について、は承認されました。

◎報 告

（1）「たちかわ電子図書館」による輪島市への支援期間延長について

○栗原教育長 続きまして、3報告（1）「たちかわ電子図書館」による輪島市への支援期間延

長について、に入ります。

黒島図書館長、説明をお願いいたします。

○黒島図書館長 「たちかわ電子図書館」による輪島市への支援期間延長について、ご報告いたします。

立川市図書館は、能登半島地震被災者支援事業の一環として本年3月より石川県輪島市の小・中学生に対して、「たちかわ電子図書館」の電子書籍読み放題パックが閲覧できるサービスを提供しており、当初は8月31日までとじていましたサービス提供期間を令和7年3月31日まで延長します。

輪島市では復旧復興に向けた取組を進めておりますが、いまだ手付かずのところが多く残る状況であり、一部の図書館は再開したものの従前の通常業務を行うことは難しい状況であるとの報告を受けております。このような状況を鑑み、当初の支援期間を延長することで被災地である輪島市の小・中学生に対して読書に親しむ環境を引き続き提供してまいります。輪島市での「たちかわ電子図書館」の利用状況については、支援当初から7月末までの累計で約1,350回の閲覧があり、現在でも一定の利用がある状況と捉えております。

以上です。

○栗原教育長 説明ありがとうございました。これより質疑に移ります。説明内容を踏まえご質疑をお願いいたします。石本委員お願いいたします。

○石本委員 前にもお話したのですが、被災地への支援ということで、「たちかわ電子図書館」が実施できていてよかったと思っています。たまたまシステムも輪島市と同じということで、立川市のシステムがそのまま利用できるというタイムリーなことでしたけれども、少しでも子供たちが読書にいきなりもらえるチャンスが増えるという意味でも延長はありがたいと思います。

以上です。

○栗原教育長 ありがとうございます。

小柳委員お願いいたします。

○小柳委員 ご説明ありがとうございます。延長に関して費用の負担などがないということなので、延長はとてもいいと思うのですが、3月のログインが386人で、7月には20人とログイン数が大きく下がっているのは、図書館が復旧してきているから減っているのか、それとも周知方法など、そういった問題があって減っているのか、もしご存じでしたら教えてください。

○栗原教育長 黒島図書館長お願いします。

○黒島図書館長 輪島市の図書館の担当の方とやりとりをしております、利用状況を毎月報告させていただく中でコミュニケーションを取っております。利用状況も現地の図書館の方は把握しているのですが、輪島市も独自で電子図書館を運営しております、そちらに対する発行者からの支援などもあり、輪島市のコンテンツもある程度充実してきているという状況も把握しているところです。

輪島市の電子図書館の利用状況についても、教えていただいたのですけれども、「たちかわ電子図書館」より利用されている状況です。どうしても入口が違う、トップページで立川市の電子図書館から入ってログインするのか、輪島市の電子図書館のホームページから入ってログインするのか、「たちかわ電子図書館」に入るには立川市のパスワードで入る、輪島市の電子図書館には輪島市のパスワードで入る必要があり、子どもたちが選んでということになっておりますので、そういったところも影響しているのかなというところですよ。

また、周知のポスターを新たに5月に電子上で、学校に対して周知、展開していただければという形でお送りはしているのですけれども、輪島市の学校の状況などもありますので、市としてやれることはやっている状況でございます。

以上です。

○栗原教育長 小柳委員お願いいたします。

○小柳委員 丁寧なご説明ありがとうございます。よく分かりました。輪島市の子どもたちは立川市か輪島市か2つから選べるということですね。周知は状況的に難しいことは理解しましたので、2つのオプションがあるというのはいいと思います。3月まで見てもらいたいです。ありがとうございます。

○栗原教育長 ありがとうございます。直近ではないですけれども、輪島市のホームページを確認すると、輪島市には大きな図書館が2つあります。輪島市立図書館と、輪島市立門前図書館で、輪島市立門前図書館は、今は震災前と同様の稼働をしていますけれども、輪島市立図書館は、確か場所を替えて仮設の運用をしているということで、まだ震災前と同様の状況ではないというのが輪島市の状況だったと思います。少しでも力になればと思っております。教育委員の皆さまからもできれば延長をというご意見をいただいておりますので、延長が実現できるのは私としてもうれしい状況でございます。ありがとうございました。

ほかはいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

〔「ありません」との声あり〕

○栗原教育長 それでは、これで3報告の(1)「たちかわ電子図書館」による輪島市への支援期間延長について、の報告及び質疑を終了いたします。

○栗原教育長 次に、その他に入ります。その他はございますか。

〔「ありません」との声あり〕

○栗原教育長 その他はないようでございます。

◎閉会の辞

○栗原教育長 それでは、次回の日程を確認いたします。次回第17回立川市教育委員会定例会は、令和6年9月12日木曜日13時30分から、302会議室で開催いたします。

これをもって、令和6年第16回立川市教育委員会定例会を終了いたします。ありがとうございました。

午後3時25分

署名委員

.....

教 育 長